

本物のウイルスを使わず エボラウイルスを理解する

鈴木 昭寛

北海道大学 大学院 医学院
生命分子機構教室



未来社会のあるべきかたち

- ◆ 生物を用いない研究のさらなる進展
- ◆ 危ないウイルスに対しての治療法の確立
- ◆ 皆が正しくウイルスを恐れる価値観を持つ

エボラウイルスとは？

出血熱を引き起こすウイルス

致死率は**90%**

アフリカでは毎年流行が報告されている

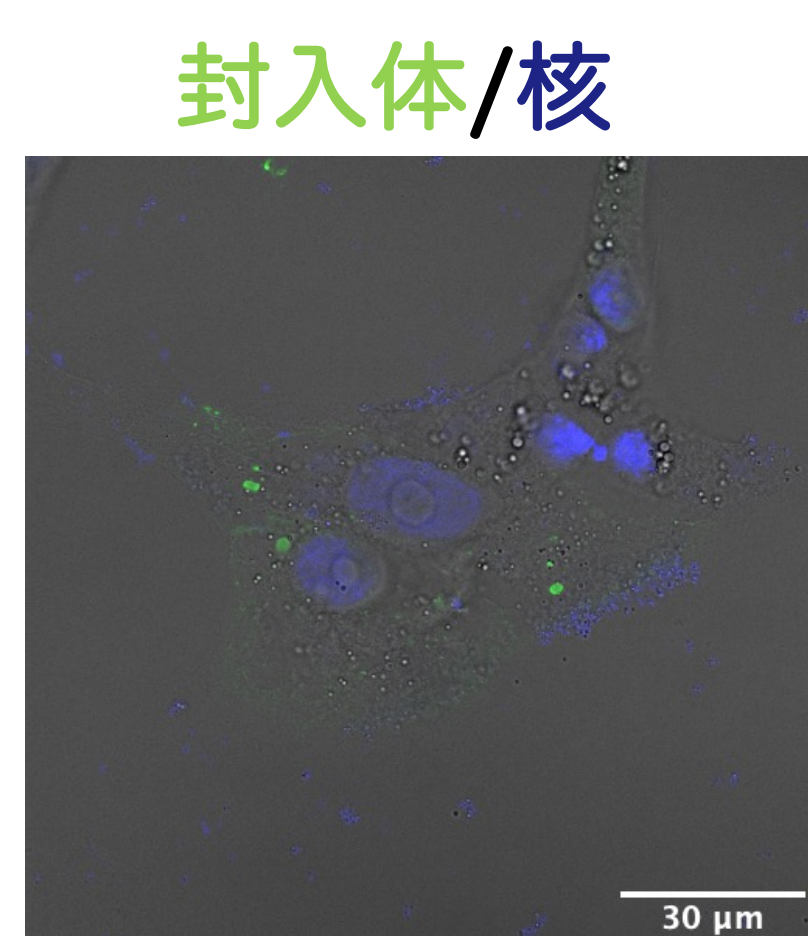
→治療薬およびそのための基礎研究が重要

エボラウイルスの封入体

感染した細胞内に**封入体**を作る

ここでウイルスは増殖する

主にタンパク質でできている

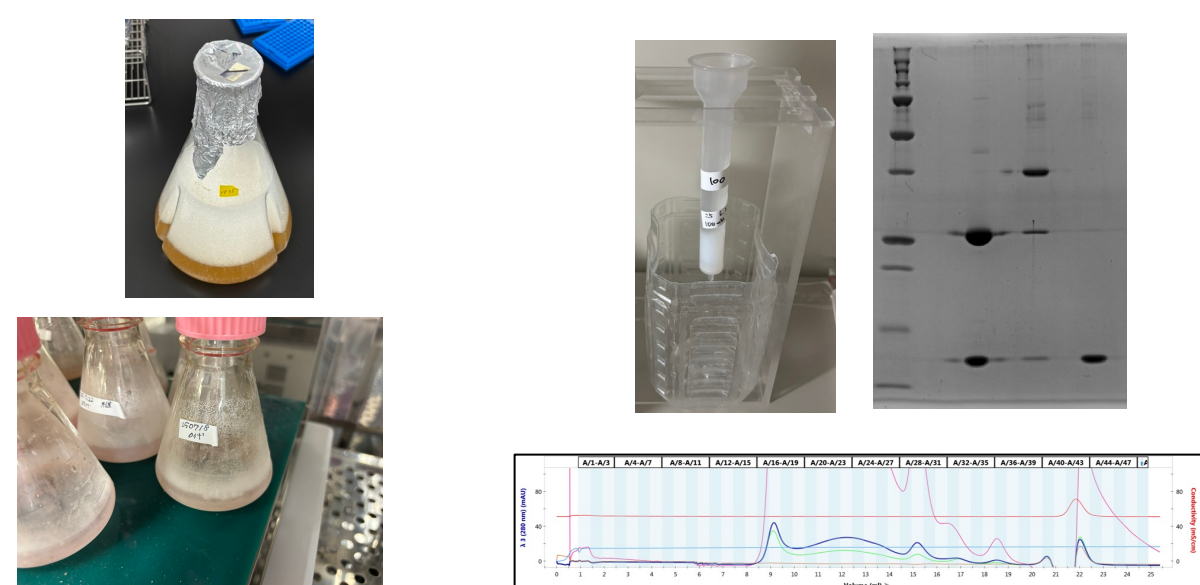


封入体を人工的に再現して解析する

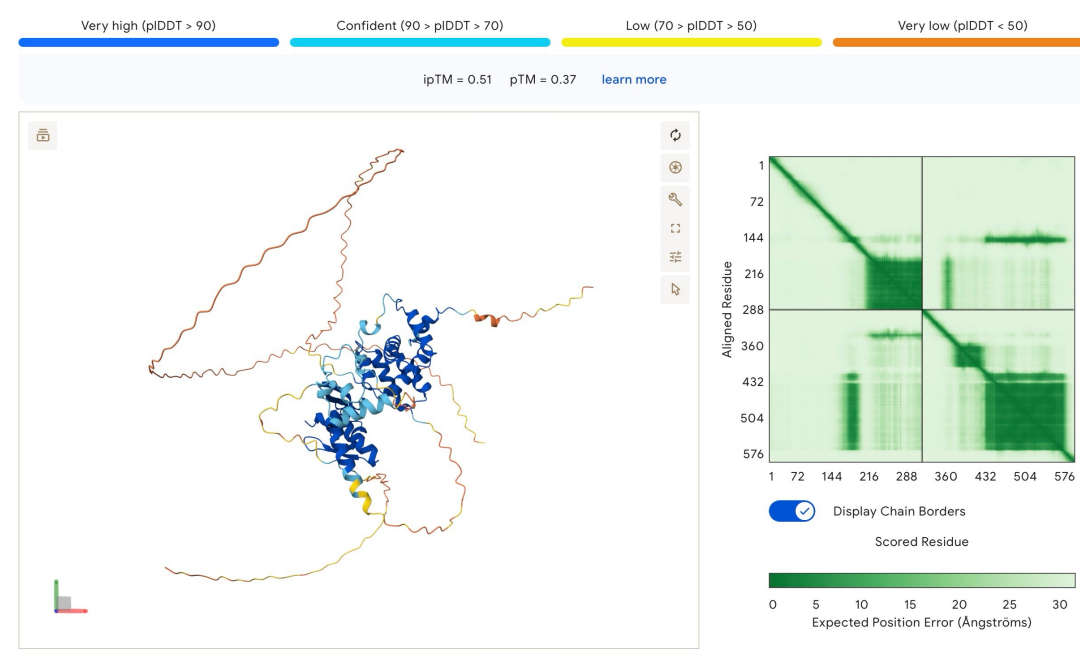
本物のウイルスを用いることは法律上できない

→封入体を構成するタンパク質を取得し、混ぜることで人工的に創り解析できないだろうか？

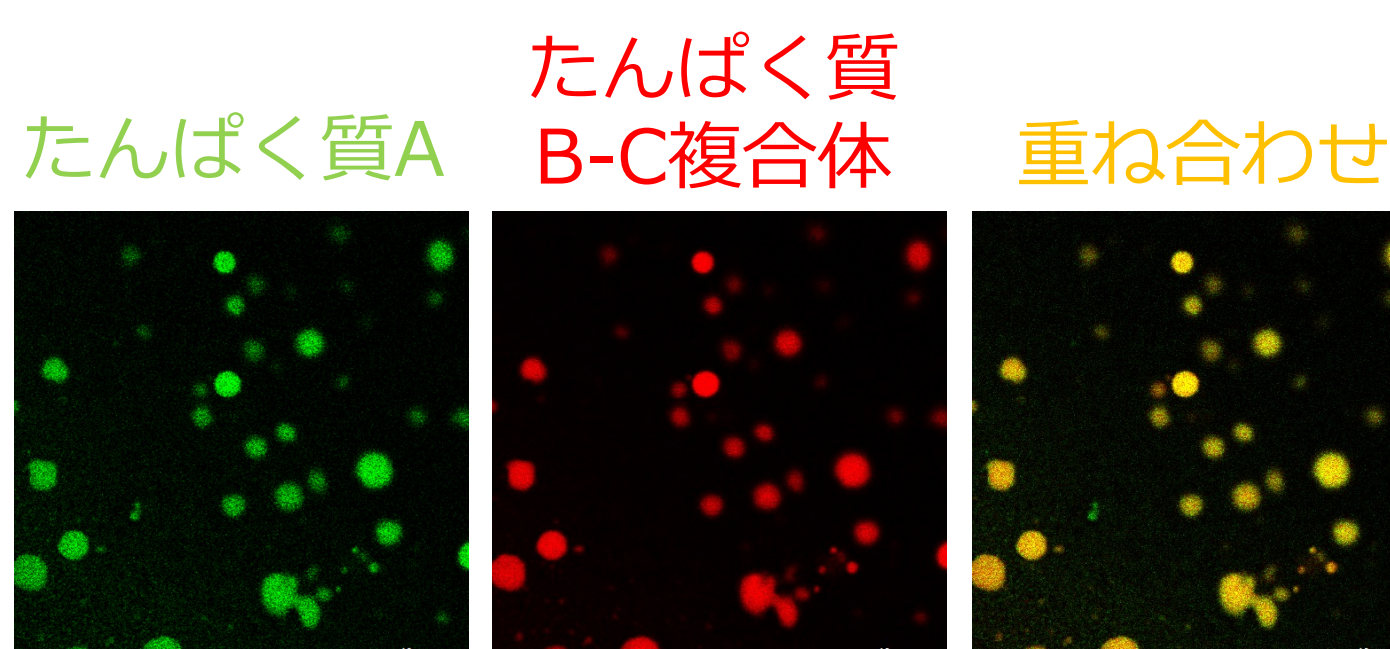
1. タンパク質の取得



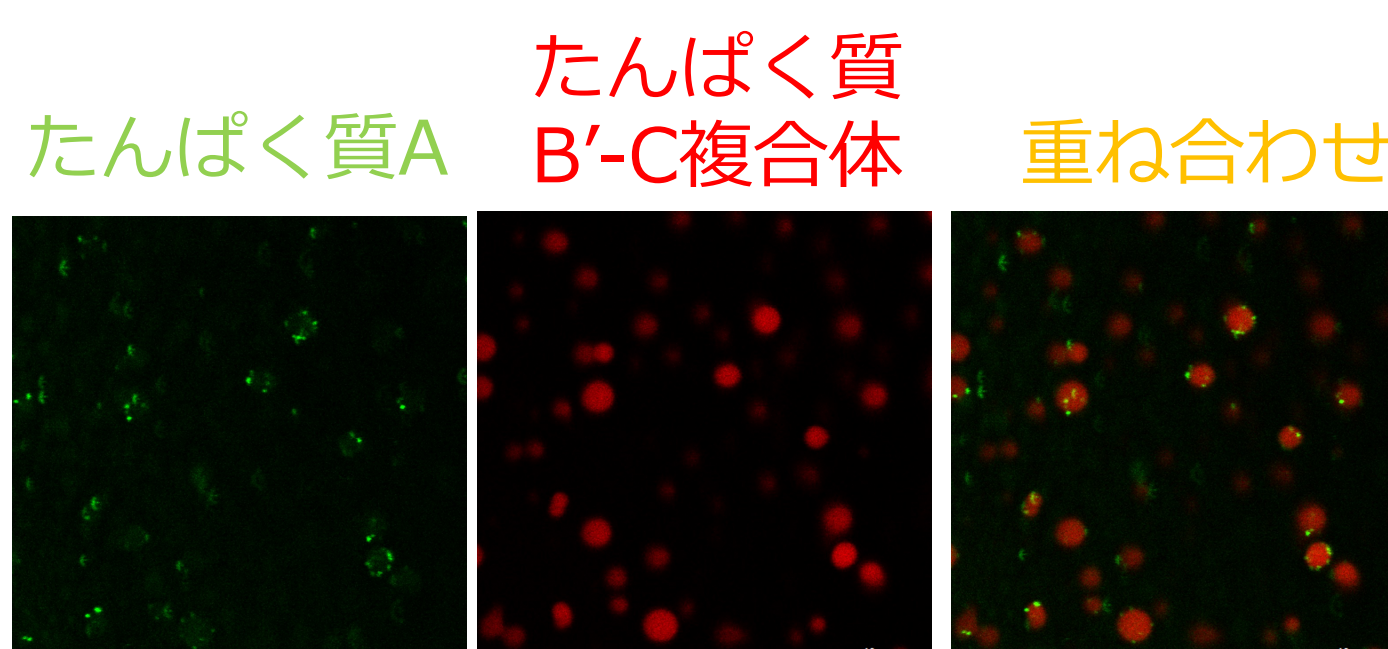
3. AIによる結合の予測



2. タンパク質の混合



4. 結合の検証



→封入体の形成機構の解明、治療標的の創出へ